

事業が平成28年度予算編成にどのように盛り込まれるのか伺う。

**答** (青山総務課長)

現在の策定状況につきましては、12月4日までに計4回の「総合戦略会議」を実施するとともに、役場内組織としての「総合政策推進会議」において施策の検討を行ってまいりました結果、おおよその素案ができ上がりました。今後は、この素案をもとに一部見直しを行い、パブリックコメントを実施し、来年1月中旬に「総合戦略会議」より町長の方へ答申をしていただきたいと考えております。また、議員ご質問の「今年10月末までに策定された団体に交付金が交付される」ということにつきましては、上乗せ交付金タイプIの先駆的事業分に2つの事業を申請しましたが、残念ながら不採択という結果となりました。

委員の一人として、「まち会」のファシリテーターの方にも加わっていただいておりますので、これまでのご意見を少しでも、総合戦略の中に組み込ませられるよう取り組んでいます。また、総合戦略策定後におきましては、PDCAサイクルにより、計画・実施・評価・改善を繰り返し行い、継続的に改善していく形を構築していくこととしております。評価や改善を行う中で、「まち会」からの提案や議会をはじめ、皆様のご意見も反映させていくよう進めてまいります。

最後のご質問の「しごと創生」についてでございますが、具体的な施策につきましては、農産物ブランド化の推進、再生可能エネルギーの推進、空き店舗の利活用、新規就農・就業者への総合的支援などを挙げております。また、平成28年度の予算編成に具体的な事業の反映や計上についてのご質問につきましては、新年度予算の各課の査定が終わり、ある程度総合戦略にかかわる予算内容も確定してまいりましたら、議会の皆様にもご説明していきたくと考えております。

## Q2 「ユネスコ記憶遺産登録」について

現況と今後の日程・計画は?

**問** 杉原千畝氏の関連資料がユネスコ記憶遺産の国内候補に選ばれたことは、八百津町にとつて大変名誉であり、喜ばしく思う。また、「人道のまち 八百津町」として国内外に大きくアピールできるものと考えているが、ユネスコ記憶遺産国内候補となった現在の状況と、今後の登録に向けての日程・計画について伺う。

**答** (山内タウンプロモーション室長)

国宝の伊能忠敬測量記録・地図など国宝級の物件16件の申請があり、その中からユネスコ本部へ申請できる日本代表の2件に上野三碑とともに9月24日に選定され、日本ユネスコ国内委員会が高い評価をいただきました。

その後、ユネスコ世界記憶遺産に精通する国内でも数少ない有識者の方を委員としてお願いし、「杉原リスト」ユネスコ記憶遺産登録推進協議会を設置し、この推進委員会を中心に申請書のブラッシュアップを行っております。

具体的には、アメリカのホロコースト記念博物館やイスラエルのヤド・ヴァシエムが、所蔵しております資料の中に何点か杉原ビザがあります。このビザを具体的に開示いただき、その情報も申請書の中に織り込みたいと作業を進めております。また、世界中に散らばっている杉

原ビザの情報も同じように集めております。

今後もユネスコ国内委員会や推進協議会の委員の皆様のご助言をいただきながら、来年3月には、ユネスコ本部へ申請書を提出し、2017年夏頃、登録可否について決定される予定となっております。日本代表の2件として、登録されるように最善を尽くしております。

**問** ユネスコ記憶遺産登録を「人道や博愛精神の発信」や「八百津町の活性化」に向けてどのようにつなげていくのか伺う。

**答** (山内タウンプロモーション室長)

当町は、杉原千畝氏の生誕地であるという世界へ誇るべきオンラインワンの特徴があります。まずは、このユネスコ世界記憶遺産登録に絡めて、当町を知っていただくことが重要であると考

えます。「杉原千畝の精神を全国的に打ち出したいと思えます。それにより、当町も知られ、多くの方が来町され、特産品や食べ物なども消費され、地域経済が潤っていくものと考えられます。

しかし、一番の目的としましては、当町で暮らす人々が「やおつ」の素晴らしさを再認識していただくことが、町の活性化につながるものと考えます。そこに暮らす町民の皆さんも、日々

暮らす中に素晴らしい景観や文化があることに気づき、郷土愛や誇りがかり立てられ、それが地域の活性化につながっていく。

また、杉原ビザの情報は全て収集し保管することで、アメリカのホロコースト記念博物館やイスラエルのヤド・ヴァシエムと並び、世界中から一目おかれる記念館になっていくものと考えます。一過性に終わらず、世界中から当町の杉原千畝記念館へ来館していただけるような施設を目指すことにより、将来にわたって当町の活性化に寄与していけるものと考えます。

**問** 赤塚町長はユネスコ記憶遺産登録に向けて、この半年間、精力的に働きかけや活動をされてきたが、その思いを伺いたい。

**答** (赤塚町長)

昨年の秋にこの世界記憶遺産のことを知って以来、東京の有志の方々や、多くの町民の皆さん方のご理解、ご協力を得ながら本日まで活動してまいりました。今後は、特に3月の世界ユネスコ協会本部へ、より良い本申請ができるよう行っていき

たいと思っておりますが、杉原ビザはその内容が極めて個人的な情報を含む秘匿性の高いものであることから、収集及び公開には、提供者のご理解を得る必要があると考えております。また、10月30日から8日間、